

1. 評価結果概要表

作成日平成21年 3 月24日

【評価実施概要】

事業所番号	2970103129
法人名	医療法人 健 和 会
事業所名	グループホームふれあい東九条
所在地	奈良市東九条町886-1 (電 話) 0742-50-0025
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 21年 3 月 13日

【情報提供票より】(21年3月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 6 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	15 人
利用定員数計	18 人
常勤	8人
非常勤	7人
常勤換算	12.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造
	1階 建て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	2,500 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (350,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,600 円			

(4) 利用者の概要(3月5日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	5名	要介護2	5名		
要介護3	7名	要介護4	1名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 87.7 歳	最低	76 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	奈良東病院
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、周辺に田畑が残る住宅地の中に新設・開所されています。穏やかな色調の外観は周辺に良く溶け込み玄関前の広い庭や周囲に季節の植栽がなされ潤いを感じられます。管理者は、看護師資格があり医療・健康面に十分な配慮がなされています。入居者も本人の生活リズム・ペースでゆとりを持って暮らされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	終末期への対応マニュアルの作成と職員への周知や火災発生時の避難・誘導訓練の実施など改善に取り組みがなされています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義・目的を正しく認識されていますが、今回は時間的に余裕無く全職員の参画の下に取り組むまでに至っていませんので、自己評価のねらい・活用の理解をより深めるために全職員の参画を期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、定期的開催され入居者状況の報告と共に運営上の課題等で積極的な意見交換がなされています。意見を入居者の生活の充実に繋がられています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時等に職員が積極的に話し掛け、不安に感じられている事や意見・要望を聞きだす取り組みがなされ、聴取した意見等は毎月の職員会議に諮り、必要な事項は運営に反映する事とされています。また、自由な意見を聴取するための「意見箱」も設置されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会に加入され、清掃等地域活動への参加やホーム内行事への招待・案内がなされ積極的な住民との交流が図られています。また、散歩時には気軽に挨拶を交わられています。なお、周辺児童等の緊急避難場所としての役割を担われています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「利用者本位と人格の尊重」等を柱とする運営規定が作られています。また、運営母体の理念「人との温かいふれあいの心」を大切に支援されています。		運営母体の理念と共に、地域密着型サービスに制度改正された趣旨を踏まえ、地域との関わりをより重視したホーム独自の運営理念を作られる事が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼時や定期的に行われる職員会議等で理念や心構えについて話し合わせ実践に活かす取り組みがなされています。		
2. 地域との支えあい					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入され、地域の清掃等の社会活動への参加やホーム行事への招待・案内がなされ住民との積極的な交流に努められています。また、散歩時には気軽に挨拶を交し合われています。なお、周辺児童等の緊急避難場所としての役割を担われています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、質の向上と改善に活用する機会と捉え取組まれています。なお、自己評価表や外部評価結果を玄関に配置され自由に閲覧出来る様にされています。		自己評価に当たり、今回は時間的余裕が無く管理者が作成し職員に意見を求め評価票を調整されましたが、全職員に評価のねらい・活用方法の理解を促すために、次回からの評価に際して初めからの職員の参画を期待します。
	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政や地域代表者等で構成する運営推進会議が設置され、定期的な会議が開催されています。会議では、入居者の状況等の報告や運営上の課題を議題に積極的な意見交換がなされ、そこでの意見等を運営に活かす取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスに制度改正されたことから、行政との連携は大切との思いがありますが、その機会を十分確保するまでには至っていない状況と感じられます。		運営上の課題や入居者サービスの問題の解決等には、行政との連携は不可欠と思量します。年1回の実地指導時だけに留まらず定期的に情報交換や相談機会の確保に努められる事を期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に健康状態や暮らしの様子が報告されると共に、定期的に発行されている機関紙「ふれあい東九条」にも一人ひとりの暮らしぶり等を担当者が一言付記され送付・報告されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に職員が積極的に話し掛け、不安に感じられている事や意見・要望等を聞きだす取り組みをされ、聴取した意見等は毎月の職員会議に諮り、必要な事項は運営に反映する事とされています。また、自由な意見を聴取するために「意見箱」の設置がなされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活の維持には相互の信頼関係は極めて大切な要素であることから、職員の異動時等にはしっかりした引継ぎがなされ、不安や混乱防止に十分な配慮がなされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内に年間の研修計画があり、それへの参加や必要と思われる外部研修にも参加させる等により職員の育成が図られています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、同業者との情報交換等の機会を持たれていますが、職員が交流するまでには至っていないと思われれます。		同業者との交流は、職員の育成やサービスの質の向上への効果が期待できると思量いたしますので検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ホームの見学時には、出来るだけ長く在所されレクやおやつ時間帯を上手く活用し、入居者との馴染みの関係作り等に努め安定した移行に工夫されています。なお、希望者には体験的入居も取り入れられています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩として敬意、特技や経験(野菜作り・調理方法・風習・習慣等)を基に、共に支えあう場面作りの支援をされています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの生活歴の把握や暮らしの中の言動や思いの把握に努められています。なお、必要な事項はホーム日誌に記録する事とされています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、その人らしい生活を維持するためのものであることから、関係者が相談し作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画期間を3月とされ、定時の見直しがなされると共に、状態に変化が見られる時には、関係者が話し合い適宜見直しがなされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関の受診や買い物・外出等柔軟な支援に努められています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族と相談され、希望者には従来のかかりつけ医での受診支援がなされています。また、協力医が2週間に1度の往診もあり、健康面への配慮がなされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の適切な対応にむけ、「ターミナルケアマニュアル」を作成され職員への周知・理解が図られています。なお、最終的な判断は家族がされる事であるので十分相談することとされています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシー確保については、採用時に研修が行われ、実践に於いても言動等に常に留意なされており、その都度互いに注意しあう事とされています。なお、個人情報に係る各種記録等は、決められた場所で適切に管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活の時間設定がなされていますが、一人ひとりの生活リズムを優先した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下準備や盛り付け・配膳等に協働され、静かなBGMが流れる中、楽しい雰囲気の下で職員と一緒に摂られています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日や時間帯の設定がありますが、本人の状態や希望に合わせた支援に努められています。		職員配置の都合から、夜間の入浴支援までは及んでいませんので、実施に向けて検討されるよう期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生きる喜びを実感するためには、一人ひとりの特技や経験を暮らしの中で活かせる機会の提供が不可欠との思いがあり、畑仕事や家事また編み物やピアノ等の趣味を通じた役割・楽しみ事への支援がなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出により受ける効果の有効性を認識され、周辺の散歩・花つみ・買い物等戸外に出る機会の確保に努められています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害を理解され、しっかりした見守りが実践され玄関は常に開錠されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導の下に、避難・消火訓練を定期的に行われています。また、避難口もユニット毎に2箇所確保されています。なお、震災に備えて、飲料水等の備蓄もなされています。		火災発生時には、入居者を迅速・安全に屋外に誘導することが求められることから、消火設備の充実と共に周辺住民の協力は不可欠と思われますので、こうした応援・協力体制の整備が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の摂取量や水分補給の状況は記録され、献立表の作成時に栄養バランスも検討され健康面への工夫がなされています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ダイニングや廊下は明るくゆとりがあり、トイレや浴室の清掃も行き届き清潔感があります。また、室温や採光・通風に留意されると共に、季節感を出すために工夫した装飾がなされ居心地よく過ごせる場所が確保されています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一人ひとりが使い慣れた物品等が持ち込まれ、穏やかに過ごせる空間となっています。</p>		